



☆☆☆一人一人がキラリと輝く 名木野っ子☆☆☆

学校評価だより(後期)

令和2年度

見附市立

名木野小学校

後期もアンケートへのご協力ありがとうございました。後期のアンケート結果の中から今年度の学校課題と結びつきの強い項目について、結果と来年度に向けての課題や取組、名木野っ子の成長についてお知らせいたします。

知:「わかった・できた」達成感を持ち、進んで学習する子

★「聞く・話す・書く」を重視した授業づくり

★基礎基本の定着を図る取組

★家庭学習の習慣化と授業との連携



<児童アンケート結果>

評価項目	肯定的評価割合(前期比)	評価	判定
○あなたは、学校の授業が分かる。できると感じていますか。	91%(-1%)	A	B
○あなたは、自分の考えをみんなに聞こえる声で話そうとしていますか。	85%(+5%)	A	
○あなたは友達の意見を話す人の方を向いて聞くことができますか。	92%(-1%)	A	
○ノートを書くときに下敷きを使い、丁寧な字で書いていますか。	69%(-5%)	B	
○普段どのくらい家庭学習をしていますか。	71%(-8%)	B	
○学校以外でどのくらい読書をしていますか。	54%(+16%)	C	

<保護者アンケート結果>

○お子さんは、家庭学習に取り組んでいますか。	85%(-1%)	A	B
○お子さんは、家庭で読書をしていますか。	47%(-5%)	C	

<教職員アンケート結果>

○国語・算数のワークテストの知識技能の平均点が80点以上の児童はどのくらいですか。	72%(-4%)	B	B
○課題、学びの見通し、振り返りのある授業を構成していますか。	83%(-4%)	A	
○家庭学習を充実させるための指導をしていますか。	70%(-8%)	B	

児童アンケート「授業が分かる・できる」「聞く」については前期とほぼ同じ割合でした。「話す」については、「話し方のプロ」を目指して意識している子どもが増えてきました。家庭学習については、頑張っている子と頑張れない子との二極化が進んでいます。また、毎週月曜日の朝を読書タイムに設定したことで、学校で読書をする子どもは増えてきています。子どもたちの中では前より読書を頑張っているという気持ちがあるのか、アンケートの回答も+16%と増えています。ただ、保護者アンケートの結果は-5%なので、家での読書習慣が波及しているとは言えないと感じています。

後期アンケートの結果から、今まで通り授業時間を大切にしながら指導をしっかりと取り組んでいくほか、家庭学習の充実を目指し、自主学習の働きかけ方を工夫していきます。宿題や自主学習でやった問題は、家でしっかり〇つけをし、直しまでやってくることを徹底していきます。また、子どもたちにもっと読書に興味をもってもらえるよう、市の図書館の団体貸し出しを利用するなど、読書活動を推進していきます。

徳：思いやりのある行動や言葉遣いができる子

★思いやりの心と人権感覚を育むための取組

- ・認め合う場の設定
- ・規範意識、思いやり、生命尊重を重視した道徳科の授業
- ・3A(あいさつ、歩き方、あたたかい言葉)運動の指導

★社会性を育む特別活動の充実

- ・子どもの発想を生かす児童会活動
- ・子どもが問題解決する学級活動の実施
- ・保護者や地域との連携した取組



＜児童アンケート結果＞

評価項目	肯定的評価割合(前期比)	評価	判定
○あなたは、自分の学校のことが好きですか。	88% (+3%)	A	A
○あなたは、学校で友達や先生、お客さんにあいさつしていますか。	88% (±0%)	A	
○あなたは、地域の人にあいさつしていますか。	84% (±0%)	A	
○あなたは温かい言葉遣いで話していますか。	93% (+3%)	A	

＜保護者アンケート結果＞

○お子さんは家庭であいさつをしていますか。	96% (+2%)	A	A
○お子さんは、温かい言葉遣いで話していますか。	80% (+1%)	A	

＜教職員アンケート結果＞

○学級が決めた行動目標が身につきましたか。	85% (±0%)	A	A
○学級会の話し合いの時間を通して学級が楽しくなるような活動ができましたか。(前期：○学級会の話し合いの時間を通して課題解決できましたか。)	89% (+26%)	A	

それぞれのアンケートの結果は、前期とほぼ同じで、肯定的評価の割合が大きかったです。2学期は、運動会、音楽会、草薙祭りなどの活動を新しい生活様式で工夫して開催することができました。大きな行事だけでなく、学級活動や委員会活動も充実していたことが肯定的評価の割合に繋がったのではないかと考えます。前期は、保護者のアンケートの記述欄には、挨拶について「朝の登校時のあいさつについてきちんとできていない」「子どもたち同士でのあいさつがない」というご指摘がありましたが、今回はありませんでした。3A委員会が、毎朝、玄関前に立って子どもたちにあいさつをしてくれています。その働きかけも大きかったのではないかと思います。+26%と増えた教職員アンケートはアンケートの言葉を変えました。言葉を変えたことで分かりやすくなり、+の結果となりました。これからも、行事や学級活動、委員会活動を充実させることで、安心、安全で居心地のよい名木野小学校になるよう尽力していきます。特に、生活の基盤である学級をよくしていくために学級づくりに力を入れていきます。



3A委員会による挨拶運動



草薙龍(3,4年)

体:運動や健康のめあてに向かって努力する子

★意欲を持って体力を高める工夫

- ・体育授業における教材、教具、指導法の工夫
- ・運動のめあてや自分の頑張り、成長を振り返る場の設定

★進んで健康な生活づくりをする指導の工夫

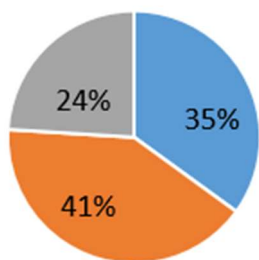
- ・メディア利用について児童の実態調査と南中学区で連携した取組



<児童アンケート結果>

評価項目	肯定的評価割合(前期比)	評価	判定
○あなたは、体を動かすことが好きですか。	98% (+8%)	A	A
○体育の授業が楽しいですか。	93% (-1%)	A	

目標のメディア時間を守れた割合



■ 毎日 ■ 6~4日 ■ 3日以下

左のグラフは、2学期の健康生活週間アンケートでの「目標のメディア時間を守れた割合」です。全校で毎日守れた人は、約35%でした。4~5日入ると「まあまあできた」児童は、76%です。



<保護者アンケート結果>

○お子さんとメディアについてのルールを決めていますか。	75% (+22%)	B	B
○お子さんは、そのルールや約束したことを守っていますか。	73% (±0%)	B	

<教職員アンケート結果>

○体育授業における教材・教具や指導法を工夫していますか。	93% (+14%)	A	B
○運動のめあてや自分の頑張りや振り返る場を設定していますか。	89% (+5%)	A	
○資料を活用して子どものメディアコントロールへの意識を高めましたか。	53% (-27%)	C	
○メディアコントロールの必要性を保護者にたより等で呼びかけましたか。	52% (-8%)	C	

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた運動会を工夫しながら無事に開催することができました。それに向けて各学年でしっかり運動のめあてをもたせて体育の学習に取り組むことができました。また、跳び箱、マット運動、ボール運動などの体育学習も頑張りカードやワークシートを工夫して自分の技能を高めるよう支援していました。また、たっぷり体を動かして遊べるようにロング昼休みの日を設定しました。「メディアコントロール」については、保護者アンケートによると「お子さんとメディアについてのルールを決めた」ご家庭が+22%と増加しました。メディア機器は今の社会になくはない便利なものですが、子どもの体に悪影響を及ぼすことも多いです。引き続き、保護者の皆様の協力を得ながら、メディアの使い方のルールを決めたり、ルールを守ったりすることができるよう、指導していきたいと思えます。また、保健だよりなどで繰り返し呼びかけていきます。健康生活週間だけでなく、普段からメディアコントロールができるよう保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

★★★保護者の皆様からの声★★★

ご多用にもかかわらず、アンケートのコメント欄に記述をしていただきありがとうございました。その中からご意見・ご要望をいくつか紹介いたします。

<学習について>

- とにかく授業を子どもの力をだせるようにもっと工夫してほしい。
- 「だいたい分かる」にチェックを入れているが、学校が何を指して指導されているのかよく分からない。
- コロナ禍でも工夫して校外学習や調理実習をしてもらってありがたく思っている。

・子どもたちの学習を保障し、授業で子どもたちが活躍できるようにすることが私たち教師にとっての使命であることを自覚し、これからも頑張っていきます。そのために、1時間1時間の学習のねらいを明確にして授業を進めていきます。また、名木野小学校としての目指す力はこの学校評価だよりの「知」のページの上部の枠に囲まれている部分です。各学年の目指す姿は、1学期始めに配付した学年便りに記述いたしました。例年ですと1回目の学年懇談会でお話しさせていただく機会があるのですが、今年度はかないませんでした。丁寧にお伝えすることができず申し訳なく思います。いつでもお気軽に担任にお尋ねください。

<生活指導について>

- 一人一人のお子さんの性格等にもよると思うが、パンチ、蹴られたなど友だちに手を出す、ものを隠す、とる、悪口を言う等の子どもの情報をよく耳にするので、そういうことがよく起こる昼休みなどにも巡回するなど、もっと様子を見てもらいたい。また、そういう子どもの保護者にもちゃんと事実を伝達すべきである。
- いじめに関してのアンケートを実施してほしい。(南中学校のように毎月)
- いじめを見逃さないでください。友達関係も注意して見てほしい。
- 生徒の個人面談もしてほしい。

・前期でも同じようなご指摘をいただきました。これらを真摯に受け止め、子どもたちが自分たちで人間関係をつくる力を付けるよう指導し、温かい学級づくり、学校づくりを目指していきます。またトラブルは、実際に見聞きした子どもたちから話を聞き、事実確認をした上で子どもたち同士が解決に向けて行動できるように支援していきます。なお、トラブルが起きたときには、学級担任だけでなく、組織的な対応を心がけています。また、不当にお子さんが困ることは未然に防止できるよう必要に応じて見守り等をしていきます。いじめアンケートは、「生活アンケート」という名前で毎月実施しています。南中では保護者と一緒の実施しているとお聞きしました。参考にさせていただき、次年度から実施できればと考えています。個人面談については、年2回「ふれあいタイム」という名前で教育相談を行っています。さらに充実できるようにしていきます。

<学校行事等教育活動全般について>

- コロナ禍においても例年と変わらない教育活動を続けてもらったり、新しい生活様式に合わせた行事の開催方法など、工夫や対策等とてもよく考えてもらったりして感謝している。しかし、必要な行事ややり方等をさらに検討してほしい。
- 学校の校外学習、学校行事が縮小化されていることが多すぎる。コロナに負けず、行事をしてほしい。
- 子どもたちが目的をもって自信を持ちながら前に進む力を引き続き教育していただきたい。
- 精神的自立、自己肯定感の高い人間へと成長してほしいため、小さな成功体験をさせてあげてほしい。

・2学期は、やり方を工夫しながら実施できるように校外学習を実施いたしました。ただ、学校で実施したくても相手側のご都合などで実施できない状況もあることをご理解いただければと思います。そういう場合は、ICTを活用し、動画の視聴やインターネットでの調べ学習など、活動内容を工夫しています。学校行事については、新学習指導要領の実施に伴って、授業時数の確保や学習内容、時代の流れの中で、昔ながらの実施方法で実施することが難しいこともあります。保護者の皆様のご意見を参考にしながら、より子どもたちのためになる実施方法、内容を考えていきます。

<その他>

- 保護者の路上停車を禁止してほしい。下校時は特に、児童の横断の邪魔になって危険である。
- 運動会での音響設備がよくなかったので改善をお願いしたい。
- ホームページの更新を早くしたり、内容を充実させてほしい。このコロナの時期だけでもよいので、紙のおたよりだとたまってしまったり、なくしてしまったり、汚してしまうこともあるから。また、ホームページをもっと活用してほしい。
- 子どもの話を聞いて、言葉づかいの悪い先生がいられるように思う。

・保護者の路上停車の件については、学校だよりや学級だよりでもお伝えしましたが、保護者の皆様のご協力をよろしく願います。運動会の音響設備については来年に向けて改善していきます。ホームページについては、週に1回程度の更新を目指していますが、回数を増やすよう努力していきます。教師の言葉づかいについては、職員全員で改めて美しい日本語を話すよう確認いたしました。